

## 平成 27 年度 学校関係者評価委員会 公開資料

- 1) 日 時 平成 27 年 7 月 27 日 (月) 15 : 00 ~ 16 : 00
- 2) 場 所 応接室
- 3) 出席者 糸賀 進 様 (山口県美容業生活衛生同業組合 常務理事)  
山村 朋之 様 (株式会社ライブス 代表取締役)  
柴田 こず恵様 (卒業生)  
愛久澤 恵 様 (在校生保護者)

\* 事前に内藤 正明委員より、私事都合により欠席するとの連絡有。

### 4) 議 事

1. 平成 26 年度自己点検自己評価結果について
- 2 ~ 4. 平成 26 年度自己点検評価結果について委員、学校側意見交換
5. 平成 26 年度自己点検・評価報告書による学校評価と改善指針

#### 1. 平成 26 年度自己点検評価結果について

(岡村副校長)

- ・ ホームページ上に学校情報を公開
- ・ 自己評価の項目について同意して頂けるか伺ったところ、委員全員の承認を得た。

#### 2. 平成 26 年度自己点検・評価報告書の 1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標に関して (学科構成について)

(学校側)

- ・ 平成 26 年度に美容学科。平成 27 年度にはエステティック学科が文部科学省より、職業実践専門課程に認定された。
- ・ 平成 27 年度の学校構成について  
美容学科・・・美容師を目指すための学科ではあるが、近年求人が増加しつつある、アイリストに対応するために、アイラッシュの演習をコース選択授業に盛り込んだ。  
エステティック学科・・・エステティシャンを目指すための学科ではあるが、美容部員・ネイリストを目指す学生も若干いる。美容の専門技術(エステ・メイク・ネイル)だけではなく、接客対応も充分できるように、各種のイベントに積極的に学生を参加させている。

(外部委員)

- ・ 退学率が高くなったのは、入学前に学ぶ内容や将来のことを十分に説明し理解させないで入学させているからでは。
- ・ 入学前教育として、現場のスタイリストを招いて、やりがい・夢を含めて講演を開いては。
- ・ 退学の理由は様々あると思うが、オープンキャンパスで美容師の「カッコいい部分」しか見せず、入学後、美容業界の様々な情報を収集していく中で、ギャップが大きくなるのでは。

(学校側)

- ・ 通信制高校からの入学者は生活習慣の立て直しが難しい傾向がある。

〈美容学科について〉

(外部委員)

- ・ 県外に進学する高校生が増えたのでは。最近就職面接で福岡から来る学生が多い。
- ・ 昨年度は県外の専門学校から面接に来る学生の方が、躰・マナーがしっかり指導されている気がしたが、今年度採用に関しては県内の専門学校学生もしっかりした指導がなされていたように思う。

〈エステティック学科について〉

(外部委員)

- ・エステティック学科のイメージでは、エステティックしか勉強できないような気がする。
- ・県内の美容業界で就職しようと考えたら、「美容師の資格」を持って、メイクが出来る。またはエステが出来るといった人材の方が採用しやすい。

(学校側)

- ・次年度学科・コース内容の変更を検討してみる。

〈全学科について〉

(外部委員)

- ・高校生は比較的「街」のイメージで進学先を決めているのでは。
- ・今後は今以上にサロンとの繋がりを強固にし、サロンから YIC を推薦してもらえるよう連携を取ったらどうか。

(学校側)

- ・募集活動に関して、サロンへ本校の案内チラシを設置してもらえるようお願いしてみる。

3. 平成 26 年度自己点検・評価報告書の 3 教務の実施体制に関して

〈主な年間行事について〉

(学校側)

- ・例年実施している新入生宿泊研修は、今後は見直す予定。次年度からコンテストに注力していくため、実技研修の導入も予定している。

(外部委員)

- ・4月~5月に新人研修、9月に再研修を実施。現在は体系立てて実施出来るようになった。同期のつながりを強化し、悩みなどを1人で抱え込まず相談できる環境づくりにもなる。
  - ・せっかく3校あるので、学校・学科を越えた学生間のコミュニケーションの場がもっと必要では。
- (学校側)
- ・現在は球技大会・学園祭・クリスマス会と毎年3校間の壁を越えたイベントが増えている。

4. 平成 26 年度自己点検・評価報告書の 4 教育目標の達成度と教育効果に関して

〈国家試験・コンテストについて〉

(学校側)

- ・美容学科国家資格において、実技に関しては練習でどうにかなるが、学科に関しては勉強の仕方から指導しないといけない学生が多いので、そういった学生にはマンツーマンで指導にあたっている。
- ・最近コンテスト参加者も入賞しようとする意欲に欠け、練習をあまりしない。
- ・個々の自主性に任せても、結果が出ないので、次年度はコンテスト対策として授業に取り入れる予定。

(外部委員)

- ・最近入社する学生は多種多様なタイプがいる。サロンではタイプ別に分けて、指導者も変えている。
- ・サロンでも最近入社した学生はサラリーマン化している。
- ・部活動形式にして、本当にやる気のある人を指導。それを下級生に見せてモチベーションを高めては。
- ・サークル形式で、やる気のある学生だけを選抜して、徹底的に指導しては。

〈就職について〉

(外部委員)

- ・学校側の指導として、県内就職を優先に考えてほしい。
- ・全国的なコンテスト等においても、山口県のスタイリストが活躍している。
- ・技術的には都心と遜色が無くなってきた。

(学校側)

- ・美容学科は県外 40%、県内 60%の割合で就職している。
- ・エステティック学科においては、県外 70%、県内 30%の割合で就職している。
- ・美容においては、県内の求人も充分あるが、メイク・ネイル分野に関しての求人は若干名。
- ・エステに関しては県内・県外とも求人はある。
- ・毎年企業説明会を実施しているが、学生の希望を事前調査し、本校からサロンへお願いする形に変更した。

5. 平成 26 年度自己点検・評価報告書による学校評価

(外部委員)

- ・学校の知名度がまだ低いので、サロンと共同で知名度アップを図ったらどうか。
- ・入学者が増加すれば、サロンにも還元してもらえるので、協力していきたい。

(学校側)

- ・昨年に引き続き、インストラクショナル・デザイン導入を目指す。
- ・企業連携をさらに強化。
- ・学校評価に最終的に ISO29990 認証を目指す。